

感 染 症 週 報

島しょ保健所八丈出張所管内感染症発生動向調査

管内 第34週

(8月19日 ~ 8月25日)

東京都感染症週報 より抜粋

第33週

(8月12日 ~ 8月18日)

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/>



東京都島しょ保健所八丈出張所

〒100-1511

東京都八丈島八丈町三根1950番地2

TEL : 04996 - 2 - 1291

FAX : 04996 - 2 - 0632

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/hachijou/index.html>

感 染 症 週 報

八丈出張所管内の感染症流行情報

(八丈町・青ヶ島村)

第34週(8/19～8/25)八丈出張所管内COVID-19 7件

新型コロナウイルス感染症・手足口病・マイコプラズマ肺炎にご注意ください！

八丈出張所管内では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の報告が7件(前週21件)ありました。東京都全体では新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数が第33週(8/12～8/18)で3.63人(前週5.50人)と減少傾向がみられました。

東京都全体では手足口病の定点当たりの報告数は第33週で4.30人(前週7.78人)で減少傾向がみられはしますが、依然**警報レベル**が続いています。

東京都全体ではマイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告数が第33週で2.20人(前週2.12人)で今後の動向に注意が必要です。

海外旅行後に気を付けたい感染症

夏休み中に海外へ渡航し、帰国された方もいらっしゃるかと思います。感染症には、潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中又は帰国後に症状がなくても、しばらくしてから感染症を発症する場合があります。その間、体調に異常がないかご自身で健康管理に注意が必要になります。海外旅行後に気を付けたい感染症には、次のようなものがあります。

○食べ物や水を介した消化器系の感染(A型肝炎、腸チフスなど)

- ・A型肝炎は、世界各地で見られますが、衛生状態が悪く飲用水の管理が悪い地域でのリスクが高く、2～7週間の潜伏期間の後に、発熱、全身倦怠感、食欲不振、吐き気や嘔吐が見られ、数日後に黄疸が現れます。
- ・腸チフスは、特に南アジアで感染のリスクが高く、感染して1～3週間は症状はなく、その後、高熱、頭痛、全身倦怠感、発しん、便秘などの症状が現れ、高熱の割に脈が遅いのが特徴的です。重大な症状として、腸出血、腸穿孔を起こすこともあります。

○蚊を介した感染症(マラリア、デング熱、チクングニア熱など)

- ・マラリアは、潜伏期間は1～4週間であり(原虫種によって異なります)、発熱、悪寒、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛などの症状が現れます。
熱帯熱マラリアはアフリカやアジア・太平洋の熱帯地域が流行の中心で、発症から24時間以内に治療しないと重症化し、脳症、腎症、肺水腫、出血傾向、重症貧血などさまざまな合併症がみられ、死に至ることがあるため早期診断、治療が重要です。
- ・デング熱は、日本人の推定感染地域として多いアジアや、流行拡大している中南米を含め熱帯・亜熱帯地域に広く分布し、2～14日(通常3～7日)の潜伏期間の後、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、発しんが現れ、時に重症化することがあります。
- ・チクングニア熱は、アフリカ、南アジア、東南アジアが流行の中心で、蚊によって媒介される感染症で潜伏期間は2日～12日です。発熱と激しい関節痛を主な症状とし、数ヶ月症状が続くこともあります。



○ダニを介した感染症(リケッチア症、重症熱性血小板減少症候群、ダニ媒介脳炎など)

- ・リケッチア症は、アフリカ紅斑熱などの地域流行性の紅斑熱、ライム病、つつが虫病、ダニ媒介回帰熱など多くの種類があり、多くは1～2週間の症状のない期間の後、発熱、頭痛、不快感、嘔気・嘔吐が見られ、重症になると死亡することがあります。
流行地域は疾患により異なります。
- ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は、東アジアを中心に分布しており潜伏期間は6日～2週間程度です。
主な初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。
- ・ダニ媒介脳炎は、東部から中央ヨーロッパ、ロシア、中国北部で分布しており、4～28日間の症状のない期間があった後、頭痛、筋肉痛、倦怠感、発熱が起こります。悪化すると、脳炎症状が出て、重症型の場合は死亡することがあります。



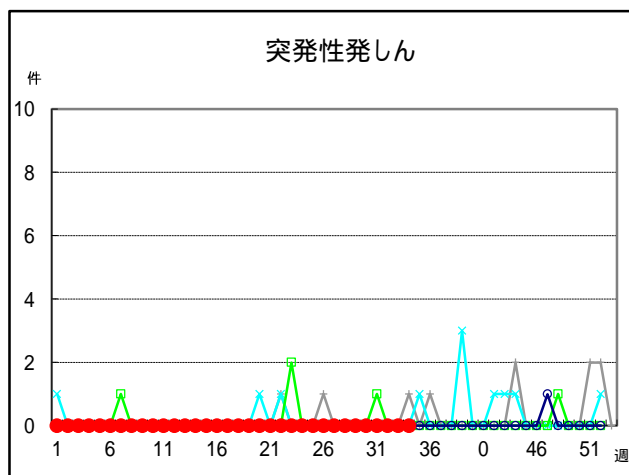
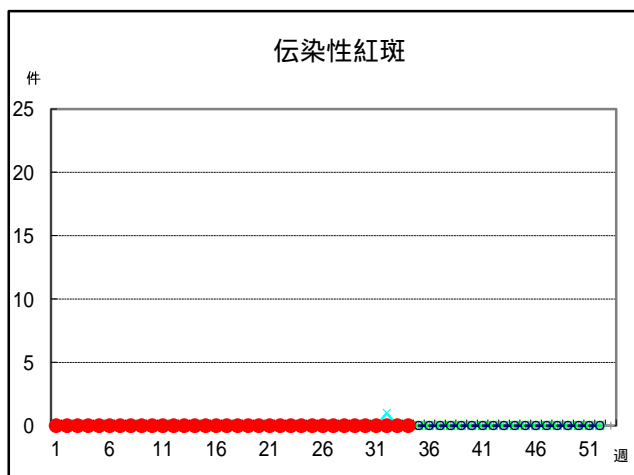
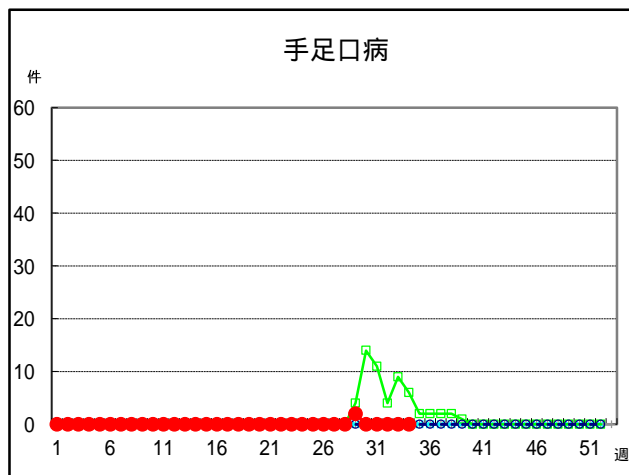
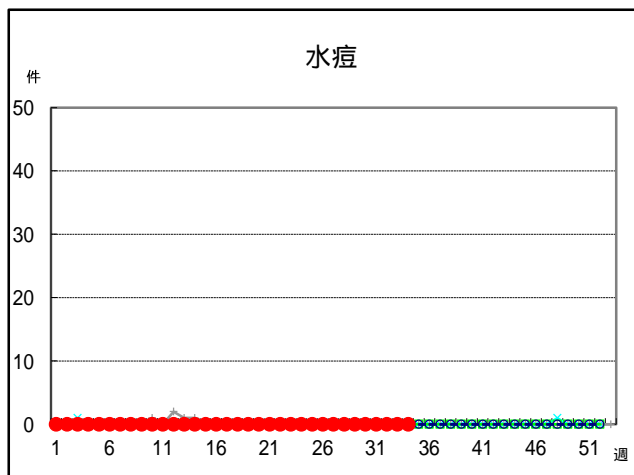
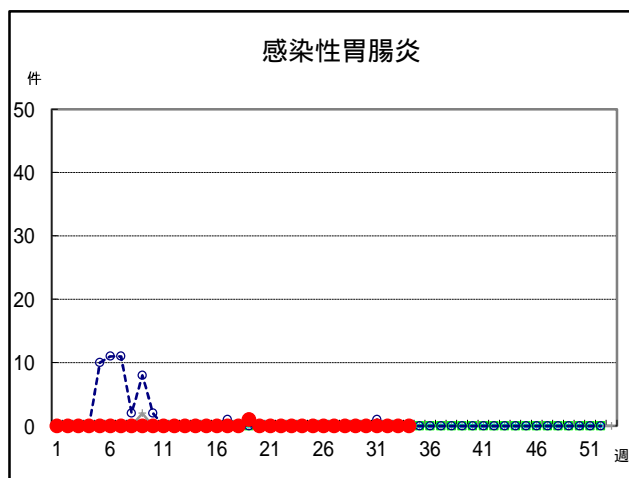
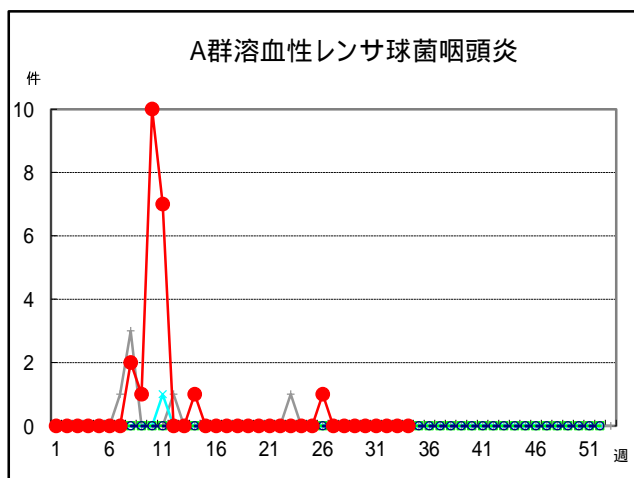
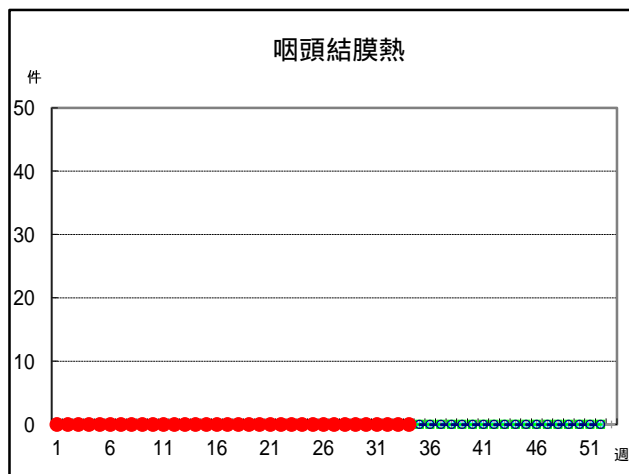
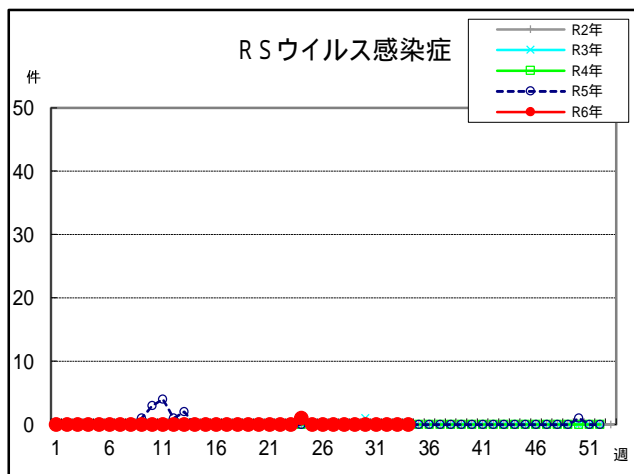
○人から人に広がる感染力の強い感染症(麻しん、風しんなど)

- ・麻しん、風しんは世界の多くの国で流行しており、麻しんの潜伏期間は通常10～12日間、風しんは14～21日間で、発熱、発しんが主症状です。

引用：厚生労働省 感染症エクспレスVol.519より

海外旅行後に体調不良で医療機関を受診する場合は海外渡航後であることを医師に伝えましょう。

八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.1) 令和6年第34週



八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.3) 令和6年第34週

